



東京理科大学  
維持会レター

第41号  
vol.41 2025.1

ご住所などの変更があった場合は、下記まで必ずご連絡ください。

募金・維持会についての問い合わせ先

学校法人東京理科大学 募金事業事務室

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3  
TEL 03-5228-8723 (ダイヤルイン) FAX 03-3260-4363  
<e-mail>bokinjigyo@admin.tus.ac.jp  
<URL><https://www.tus.ac.jp/donation/purpose/>

募金について



維持会について



新年あけましておめでとうございます。維持会会員の皆様におかれましては、日頃から本学の教育・研究に対し温かいご理解を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、来たるべき本学創立 150 周年に向けた様々な施策を計画し、着実に歩みを進めることができた一年でした。昨春には「第二期学部・学科再編計画」として、情報系分野の強化を主眼とした「創域情報学部情報理工学科」および「理学部第一部科学コミュニケーション学科」の2組織の新設を公表いたしました。また、昨夏には理科大ならではの独創的・分野横断的研究分野を重点的に強化することで、世界と伍する研究大学となることを目指した「TUS SciTech 構想」を策定いたしました。今後も本学が「世界の未来を拓く TUS」として大きく飛躍し続けていくため、このような施策に全学をあげて取り組んでまいります。

社会全体に目を向けますと、不安定な世界経済の影響による急激な物価の上昇、急速な少子高齢化、グローバル競争の激化など、大学を取り巻く環境は依然として厳しさを増すばかりです。社会問題が今後さらに複雑化していく中、今こそ建学の精神に立ち返り、科学技術の力で社会の発展のために新しい価値創造を行っていくことが本学の使命であると考えております。

本学が 150 周年、更にも先の未来に向けて発展していくため、各キャンパスでは施設の再構築や研究設備の高度化など、教育研究環境の整備がまさに急務となっております。これらに対応すべくしっかりと取り組んでまいります。また同時に、学生が経済的な困窮を理由に修学を諦めることがないように、奨学金等の支援制度をより拡充させてまいります。

維持会の皆様からの貴重なご厚志につきましては、今後も教育研究のために有効に活用させていただきますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



学校法人 東京理科大学 理事長  
浜本 隆之

維持会会員の皆様 明けましておめでとうございます。皆様には日頃より本学へのご寄付並びに様々な場面でのご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

維持会では 2021 年より、冠奨学金の募集を行っておりますが、この度新しい試みとして、冠奨学金寄付者と受給学生との懇親会を開催しました。

この懇親会は、冠奨学金寄付者の方々へ受給学生より直接感謝の気持ちを伝え、日頃大学で注力していることを知ってもらう場として企画しました。

寄付者の方 4 名、受給学生 20 名、理事長をはじめ本学関係者を含め 32 名が参加し、寄付者や学生が 5 つのテーブルに分かれ、懇談しました。

この奨学金は成績が優秀でないと受けられませんが、学生は奨学金を受給できたことに感謝するとともに、自分の研究テーマや勉強の内容について熱心に話してくれ、質問にも答えてくれていました。実に有意義な会であったと感じています。

さて、今回の企画では想定外のことがありました。2 時間弱の会でしたが、終わってから受給学生同志が残って話をしているのです。受給学生はこれまでお互いに面識がなく、今回の懇親会で初めて会う者同士です。懇親会の間にそれぞれどんな勉強や研究をしているかを聴く機会が出来たのでしょうか。互いに更に話してみたいと思うことが出来たのだと想像しています。

今回の企画は学生にとって奨学金を受給されるだけでなく、それに加えてネットワークを広げる機会にもなったと思います。同時に、寄付者にとりましても奨学金が活かされているという実感を得られたのではないかと思います。

学生の更なる成長を期待するとともに、東京理科大学にご寄付いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。



東京理科大学 維持会 会長  
酒井 陽太

## 第 91 回 常任維持会報告

東京理科大学維持会は、東京理科大学創立者の先生方からの寄付によって財政の苦難を乗り越えた遺徳にちない、大学の維持及び発展に寄与することを目的とした組織です。

維持会は、東京理科大学維持会会則にもとづき、常任維持会を設置し運営しております。常任維持会の構成員は、栄誉会員及び特別会員のうちから 10 名以内を、理事長が理事会の議を経て委嘱することになっており、2024 年 11 月現在 9 名の方が常任維持会員として委嘱されております。常任維持会は、年 2 回開催され、法人の維持及び発展に寄与する活動に関する事、維持会会員に関する事、寄付者に対する顕彰に関する事などを審議しております。

2024 年 11 月 15 日に開催された第 91 回常任維持会について、主な点を報告いたします。



### 1. 維持会会員承認について

2024 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の間に寄付された新規会員 62 名と追加寄付 502 件について報告があった。

### 2. 顕彰者について (2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)

栄誉会員 B に 1 名、特別会員に 3 名が昇格したことの報告があった。

栄誉会員 B	： 匿名	
特別会員	： 野口 多門 様	昭和 40 年理学部第二部数学科卒
	石川 正俊 様	東京理科大学学長
	大熊 壮成 様	昭和 54 年理学部第二部数学科卒

### 【常任維持会】

会 長 酒井 陽太  
副会長 岡本 公爾 加藤 和詳  
会 員 秋山 仁 岡村 総一郎 坂本 功 望月 圭一郎 山田 義幸 吉本 成香  
本山 和夫 (2024 年 7 月 24 日にご逝去されました)

(任期：2020 年 12 月 28 日から 2024 年 12 月 27 日まで)



開催報告

東京理科大学維持会

11/15

冠奨学金寄付者と受給学生の懇親会を開催

2024年11月15日(金) PORTA 神楽坂にて、冠奨学金寄付者と受給学生の懇親会が開催され、本学関係者を含め32名の方が出席しました。

冒頭に、理事長より冠奨学金寄付者の方々へ本学への多大な貢献に感謝する旨の挨拶のあと、和やかな雰囲気の中、親しく懇談が行われました。寄付を賜りました方々からは冠奨学金寄付に込められた思いを奨学金受給学生に伝えられ、学生の皆さんからは奨学金で得られた学業成果の披露がありました。懇親会の途中では、維持会の由来についてのお話もあり、皆さんが創立者の先生方の思いを改めて感じる機会となりました。



学生の皆さんのさらなる飛躍のために  
維持会では引き続き支援を行ってまいります。

### 維持会奨学金を受給した学生からのメッセージ

2023年度に学生80名に対して、21,250,000円の奨学金を給付しました。今回は維持会奨学金を受給した学生から感謝のメッセージが寄せられましたので、皆さまの暖かいご厚志に対する感謝の気持ちと、将来への志を持って懸命に勉学に励む姿をご紹介します。

今後とも、本学の発展にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 維持会奨学金に採用された感想

##### 理学研究科 数学専攻 1年

「維持会奨学金」に採用頂いたことを、大変光栄に感じております。学部生時代にコツコツと勉学に励んできて良かったなと感じました。また、奨学金を頂いたからには、大学院においてしっかりと研究に励み、奨学生としてふさわしい人物になることを決意しました。大学院を修了した後も、国や社会に貢献していくことで奨学金を支援して頂いた方の想いに報いることが出来ればと思っております。

##### 工学研究科 建築学専攻 1年

「維持会奨学金」の採用のご連絡を受けたときの感謝と安堵の気持ちは今でも鮮明に覚えています。私は5人兄弟の末っ子で、家計は常に厳しい状況でした。主たる生計者である父が高齢で退職することも決まっていたこともあり、大学院進学自体を諦めるべきなのではないかと考えていた時期でした。そんな時に事務課の方からこの奨学金のことを教えて頂き、無事大学院に進学することができました。関係者の皆様には本当に感謝しています。

##### 創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 1年

「維持会奨学金」に採用いただき、大変ありがたく感じております。経済的な支援をいただくことで、学業や研究にさらに専念できる環境が整い、感謝の気持ちでいっぱいです。この奨学金を励みに、より一層の努力を重ねて学業に邁進し、自らの知識や技術を深めていきたいと考えています。また、支援をいただいたことへの恩返しとして、学んだことを社会に還元し、有意義な成果をあげられるよう尽力して参ります。

##### 先進工学研究科 電子システム工学専攻 1年

この度は「維持会奨学金」に採用して下さって誠にありがとうございます。学部時代の学問に対する姿勢を評価されたことと両親の経済的負担を減らせたことを素直に嬉しく思います。また、「維持会奨学金」に採用されたことを自信の糧として研究活動の邁進につなげたいと考えています。加えて、「維持会奨学金」に採用して下さった恩を返すためにも、現在取り組んでいる研究を進めて、今後の社会の発展に役立てたいと思います。

#### 奨学金をどのように活用しましたか？

##### 理学研究科 物理学専攻 1年

受給した奨学金は、専門書籍の購入と学費に活用しました。本奨学金のおかげで学費の一部を負担でき、経済的な余裕が生まれたため、研究活動に専念することができました。

##### 創域理工学研究科 経営システム工学専攻 1年

奨学金は主に研究に必要な専門書籍の購入と、機械学習やAI開発に不可欠なソフトウェアの導入に充てました。これにより、最新の知識を習得しつつ、効率的に研究を進められる環境を整えることができました。

##### 創域理工学研究科 建築学専攻 1年

国際学会に参加する際の交通費や宿泊費の一部として活用させていただきました。国際学会の参加にはかかる費用がとても大きいですが、この奨学金のおかげで参加することができ、大変貴重な経験となりました。

##### 創域理工学研究科 建築学専攻 1年

一級建築士の学科試験用教材・受験料や就職活動の交通費等に活用させていただきました。奨学金をいただいたお陰で、アルバイト等に時間を割く必要がなくなり、就職活動をしながら、一級建築士の学科試験を突破し、さらに研究活動も前に進めることができました。

#### いま大学で力を注いでいること

##### 理学研究科 物理学専攻 1年

大学ではトモキューブという、立体的に屈折率と蛍光を測定できる装置を使った研究に力を注いでいます。この研究では1ピクセル毎の屈折率や輝度を取り出して膨大な量の数値計算するため、本奨学金で購入した高性能なパソコンが大変役に立っています。

##### 創域理工学研究科 社会基盤工学専攻 1年

インフラの維持管理を主目的とする研究に力を入れていきます。我が国では、土木技術者数の減少、インフラ整備に係る国家予算の縮小等の理由により老朽化するインフラの維持管理が課題です。私の研究はこの課題を解決する一助となることが期待され、国家貢献の意においても非常にやりがいがあります。

##### 創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 1年

現在、私は研究活動に力を注いでおり、特にAI技術を用いた深部腫瘍の高精度検出に取り組んでいます。学業面でもさらに知識を深め、将来の専門分野で活躍できるよう日々努力しています。

##### 創域理工学研究科 建築学専攻 1年

建築光環境の分野の研究に励んでいます。この研究は専門外の人にも空間の明るさを伝えることを可能にするため、照明設計や意匠設計に貢献できると考えています。

#### 支援をくださった方々へのメッセージ

##### 理学研究科 応用数学専攻 1年

この度は維持会奨学金に採用していただき、ありがとうございました。理科大の大学院での二年間で多くのことを吸収し、これからの人生に活かしていきたいと思っております。また、大学院で培った研究力で社会に貢献できるような理系研究者を目指したいと思っております。

##### 創域理工学研究科 情報計算科学専攻 1年

私の2年間の大学院での生活は本奨学金制度に支えられております。支援して下さり、ありがとうございます。また、私のように自身の収入のみで生活をしている学生が大勢います。ぜひ、本奨学金制度を今後とも後輩の世代でも継続していただけたら、非常にうれしく思います。

##### 創域理工学研究科 経営システム工学専攻 1年

ご支援に心より感謝申し上げます。いただいた機会を最大限に活かし、研究に邁進いたします。将来は、AIや情報技術を通じて社会課題の解決に貢献できる人材となり、支援への恩返しをしたいと考えております。

##### 理学研究科 応用数学専攻 1年

この度は奨学金のご支援をいただき誠にありがとうございます。今後の大学院での生活の中で今回ご支援をいただいたことへの感謝を忘れずに、社会に貢献できるような人材になれるよう日々努力していきたいと思っております。

※都合により、一部編集して掲載しております。 ※2024年度の所属・学年を掲載しています。

#### 2024年度 寄付者の名前を冠した奨学金（冠奨学金）

- 渡辺一之奨学金
- 大澤賢一奨学金
- 関智弘奨学金
- 白井康雄奨学金
- 森野義男奨学金
- 細川斉子奨学金
- 鶴志会奨学金
- 宗政信傑奨学金
- 鶴田禎二奨学金
- 深山邦武奨学金
- 深山義枝奨学金
- ラックランド奨学金

奨学金を受給した学生からの感謝のメッセージは、このほかにも多数寄せられており、本学ホームページでも紹介しております。引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

メッセージページはこちら



寄付の詳細はこちら



**【維持拡充資金（第二期） 寄付額】**

(2024年4月1日～2024年9月30日)

個人	30,088,500 円
団体	1,693,193 円
こうよう会	15,740,000 円
法人	2,385,357 円
<hr/>	
合計	49,907,050 円

**【2023年度 維持拡充資金（第二期） 寄付総額】**

(2023年4月1日～2024年3月31日)

個人	104,310,200 円
団体	290,000 円
こうよう会	25,631,000 円
法人	243,640,742 円
<hr/>	
合計	373,871,942 円

**- 訃報 -****栄誉会員 本山 和夫 様(もとやま かずお = 74歳)**

令和6年7月24日にご逝去されました。昭和47年理工学部経営工学科卒。

平成27年から令和3年まで学校法人東京理科大学第8代理事長を務められました。また、令和2年から常任維持会員として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

**栄誉会員 沓澤 虔太郎 様(くつざわ けんたろう = 94歳)**

令和6年10月16日にご逝去されました。昭和28年理学部第二部物理学科卒。

平成16年から常任維持会員、維持会顧問として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

**栄誉会員 田崎 孝 様(たざき たかし)**

令和5年8月14日にご逝去されました。昭和26年理学部第一部化学科卒。

昭和57年から常任維持会員として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## ●●● 寄付のお願い ●●●

# 皆様のご寄付は東京理科大学発展のために 幅広く活用させていただいております

～「世界の未来を拓く TUS」を目指して～



### 01 奨学金支援

学生生活の支援に

理科大らしく誰もが学ぶことができるように、経済支援・学業伸長支援の両面から支える奨学金制度を充実させます



冠奨学金に関する詳細は、  
本冊子 P3 ~ P6 をご覧ください

### 02 教育研究推進支援

豊かな教育・研究環境のために

「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」の実現を目指します



#### 教育

##### ◆「データサイエンス教育プログラム」の整備

データサイエンスセンターが中核となり、データサイエンスの新たな応用展開を牽引する人材育成のためのプログラムを整備する。

##### ◆教育 DX の推進

教育 DX 推進センターが中心となり、教育の在り方の検討と新しい教育方法の開発を進める。

##### ◆「くさび形教養教育カリキュラム」の導入

「3年生以上で一般教養科目4単位以上」の取得を義務化し、内容面においても多彩で本格的な教養科目を配置して学生が興味関心を広げたり深めたり、新しいことに挑戦できるようにする。

#### 研究

- ・女性研究者支援
- ・国際共同研究支援
- ・トップ研究者育成支援
- ・次世代研究者支援

### 03 キャンパス維持拡充支援

ICT 教育の強化 & 葛飾キャンパス新棟建設に

各キャンパスの地域性・特色を生かしてハード・ソフトの両面で、充実した教育研究環境の整備を図ります

#### スマートキャンパスの実現

- ・IT 環境の整備
- ・キャッシュレス決済
- ・仮想環境の整備



#### エコキャンパスの推進

- ・カーボンニュートラルを目指した施設・設備
- ・創エネルギー・再生可能エネルギーの利用検討



### 04 課外活動支援

課外活動を通じたリーダーシップと挑戦力の育成

体力や技能の向上、多様な文化的興味へのアプローチ、人間関係の構築等、実り多い大学生活を応援します

- ◆ 課外活動支援
- ◆ 課外活動環境整備支援
- ◆ サイエンスフェア参加団体支援

課外活動を通じた様々な経験は、コミュニケーション能力、企画力や実践力等を高めるのに効果的であり、本学の建学の精神にも通じる社会貢献にもつながります。多様な学生の参加の場を創出し、学生の人的成長や創造力・挑戦力の醸成を促進する体制を構築します。

※ 2023 年度は、236 件の支援を行いました。



## お知らせ

### 掲載予告

## 秋山仁が語る「建学者寺尾寿」

本学の歴史は、明治 14 年（1881 年）から始まります。21 人の創立者たちの行動は日本が近代化に向かう時代の青年たちの情熱あふれる物語で、理科大版「坂の上の雲」のような感じを受けます。その中のリーダー格だった寺尾寿は今でも活発に研究されている「楕円函数論」という数学の分野を日本で初めて講義した人物でもあることを秋山仁先生が教えてくださいました。そこで維持会レターに本学の建学にかかわる話として秋山先生にコラムとしての紹介文の作成をお願いしましたところ、小冊子に相当する読み物を書き上げていただきました。一読するとそこには創立者寺尾寿という人物の学問的業績だけでなく、人となりやエピソードとともに描かれていました。またそこには 三井財閥の重鎮岡田、フランス人の数学者ポアンカレ、文部大臣菊池大麓、

作家三島由紀夫、物理学者長岡半太郎、女優東山千栄子、画家黒田清輝といった私たちも知る人物の名前が現れてきます。機会を改め皆様に読んでいただけるような形を検討したいと思っています。



## 2025 年も継続します！

### オリジナルグッズ贈呈

ご好評につき、2025 年 1 月～12 月までの 1 年間に、1 万円以上のご寄付を賜った寄付者の皆様にオリジナルグッズを贈呈します！  
新たな理科大グッズを考案中ですので、お楽しみに！



2024 年のオリジナルグッズは理科大オリジナルバンブータンブラー！  
発送は 2025 年 2 月～3 月を予定しております。

### オープンカレッジ無料受講

2025 年 1 月～12 月までの 1 年間に、10 万円以上のご寄付を賜った寄付者の皆様は、「東京理科大学オープンカレッジ」2026 年度講座の中から 1 講座を無料で受講できます。  
(語学の講座は対象となりません)  
理科大ならではの「最先端の知」、互いに学びあう「共創の場」を体験してみませんか。

- ☆大学が行うビジネス講座数が日本最大級！年間 500 講座以上を開催しています。
- ☆皆様のニーズにあうよう、「学び取る深さ」や「扱う幅の広さ」の点で様々な講座を用意しています。
- ☆従来の会場型講座（対面）に加え、自宅など場所を問わず受講いただけるオンライン講座（zoom）もあります。

## 「TUS VISION 150」の実現に向け

## 更なるご支援をお願いします。

インターネット寄付のお申し込みはこちら▶

